

### 師走①

今年も残り1か月で終わろうとしています。1年の経つのは早いものです。この12月のことを「師走」とも言います。「日ごろ落ち着いている先生でさえ、走り回るほど忙しくてたまらない月だから」と、私が小学5年生の時に担任の先生に教わったことをいまだに覚えています。というのは、その時、「うちの先生は落ち着きないからなあ、毎月師走やん」と、言わなくていいことを教室中に聞こえる声で言ったものだからしばらく立たされたからなのです。その場面が映像となっていまだに記憶されているのです。結局「師走」の語源には諸説あって、担任の先生の言葉が正しかったとは言えないのですが、私にとって今でも「師走」と聞くと思い出されます。



子どもの時の記憶は、このように断片的な場面が写真のように脳にこびりついていると聞いたことがあります。そう思うと、日々、私たち大人が教えることや接し方が目の前の子どもに何十年も記憶として残すシーンとなっているかもしれないと思うと怖くなってきます。責任重大です。

### 師走②

師走というと、今でも新年を迎えるに気忙しさはあるように思います。しかし、その度合いがだんだんと薄れてきているのは否めないと思います。私が子どものときは、大掃除をさせられたり、お節料理をお重に詰め込むのを手伝わされたり、ついた餅を丸めるのを手伝わされたり、年賀状を書かされたりとあまり好きじゃないことに追われていました。その反面、新しい服を買ってもらったり、正月用のおやつを買い溜めさせてもらったりという楽しみもありました。家族で年末年始の数日を過ごすのも楽しみなのは今でも変わらないでしょう。



しかし、今は大晦日でも元旦でも物は買えるので買い溜めする必要はないし、お節も買うことができます。また、年賀状すらメールで済ますことが多くなってきています。バレンタインやハロウィンなどが大きなイベントになりつつある一方、少しずつ四季折々の日本古来の季節感が失われてはいないでしょうか。

学校は、失われていく季節感や伝統を次世代の子どもたちに受け継いでもらうべく、生活科や総合的な学習の時間に経験を積みさせていくことも重大な役割のひとつだと思っております。 <学校長>

★貴志南小学校では、ホームページを設けています。 <http://www9.wakayama-wky.ed.jp/kishiminami/>

※写真等は児童個人を特定できないように配慮しています。

※先月で閲覧者数2万人を突破しました！ありがとうございます。